



ハーモニー

協創自 校訓
力造主 訓

R6. 9. 06(金) No.10 小柳弘志

台風10号の後に

台風10号の影響で8月29日(木)、30日(金)が休校になりました。「自分と自分の大切な人の命を守る事を最優先に行動してください」と前回の学校だよりで書きましたが、今週、登校した生徒に話を聞くと、命に関わる大きな被害に遭った人はいなかったようです。荒尾市からみた場合、被害の出る最悪のコースはまぬがれましたが、日本全国でみると大雨と強風で各地に大きな被害を出した台風でした。

今後も秋雨前線と高い海水温の影響で“台風のタマゴ”が次々と発生し、日本に上陸する可能性もあるという報道もあります。ここでもう一度“命を守る行動”を確認しておきましょう。(裏面に命を守る行動の一例を載せています)

事故に注意して

この夏も交通事故や水難事故に遭い、命を失くしたという悲しい事が起こっています。夏休みに「ノーヘルで自転車を運転している中学生を見かけた」「タスキなしで登下校している中学生を見かけた」という連絡が地域の方からありましたので、8月27日の全校集会で交通安全担当が指導を行いました。子どもたちの命を守るために地域の方が小中学生をしっかりと見てくださっていることに感謝します。ありがとうございます。

1年生合同帰りの会

はやく学校生活に戻るために、9月3日(火)の帰りの会を合同で行いました。以下の話がありました。(概要)

【学習について】

- ・定期テストは学習が定着したかの確認と3年時の受験に向けた準備練習。気になるのがテスト中、うつぶせになったり、周りを見たり、シャープペンシルを分解したりしている人がいる。50分間集中できるように訓練を。
- ・夏休みの宿題を完成させよう。時間がかかってもやりきる事が大切。一緒に頑張ろう。
- ・はやく学校生活(学習)のリズムを取り戻そう。



【生活について】・・大きく4つ

- ・時間を守る(登校、授業の始まり、給食、掃除、帰りの会)
- ・挨拶を意識する(相手に伝える、大きな声、丁寧に、相手を見て)
※人は1人では生きていけない。コミュニケーションが大事。挨拶はコミュニケーションの第一歩
- ・身なりを整える
※今の学校のルールは先輩たちが先生たちと一緒に考えた結果
- ・自転車のルールを守る。登下校のマナーを守り、地域の方が安心できるように

【思いやる心について】

- ・病氣療養中の先生を心配してくれる素敵な生徒が多い。自習の時も自習課題に意欲的に取り組んでいる姿には先生達もありがたいと感じている。

※集会の最後には「ハイ！」の返事も大きくなっていました。頑張れ1年生。

台風への備え 5箇条

被害を未然に防ぐために正しい知識を身につけ災害に備えましょう。

- 1 家の外の備えを行う（大雨が降る前、風が強くなる前に済ませる）
 - ・窓や雨戸の鍵、必要に応じた補強 ・側溝、排水口の掃除(水はけを良く)
 - ・風で飛ばないように物の固定、屋内へ格納
- 2 家の中の備えを行う
 - ・非常用具準備(懐中電灯、携帯用ラジオ、救急用品など)
 - ・室内からの安全対策(窓ガラスに飛散防止テープ等貼る、カーテンやブラインドを下ろす)
 - ・水の確保(飲料水、生活用水) ・非常用食品準備(クラッカー、レトルト食品、缶詰など)
- 3 避難場所の確認を行う
 - ・避難場所への避難経路の確認 ・家族での連絡方法の確認
 - ・持ち物は最小限、両手が使えるように
- 4 気象台が発表する「台風情報」、「警報・注意報」など情報の入手を行う
 - ・最新の情報を
- 5 台風接近中は不要な外出は控え、危険な場所へは近づかない！
 - ・雨で増水した川、水没地は境界不明で転落事故が発生。また、山崩れ・がけ崩れも起こりやすい。日頃は安全と思われている場所でも油断せず、近づかない。
 - ・暴風時は物が飛び、ぶつかる。車が転倒する。ドアや扉に手や指を挟まれる被害も発生する。不要な外出は避ける。また、海は高波が続く。海岸付近を見に行かない。

人への影響

15～20m/s

風に向かって歩けなくなり、転倒する人も出る。高所での作業はきわめて危険。



20～25m/s

何かにつかまっていないと立ってられない。飛来物によって負傷するおそれがある。



25m/s以上

屋外での行動は極めて危険



屋外・樹木の様子

15～20m/s

電線が鳴り始める。看板やタン板が外れ始める。



20～35m/s

細い木の幹が折れたり、根の張っていない木が倒れ始める。看板が落下・飛散する。



35m/s以上

多くの樹木が倒れる。電柱や街灯で倒れるものがある。ブロック壁で倒壊するものがある。

